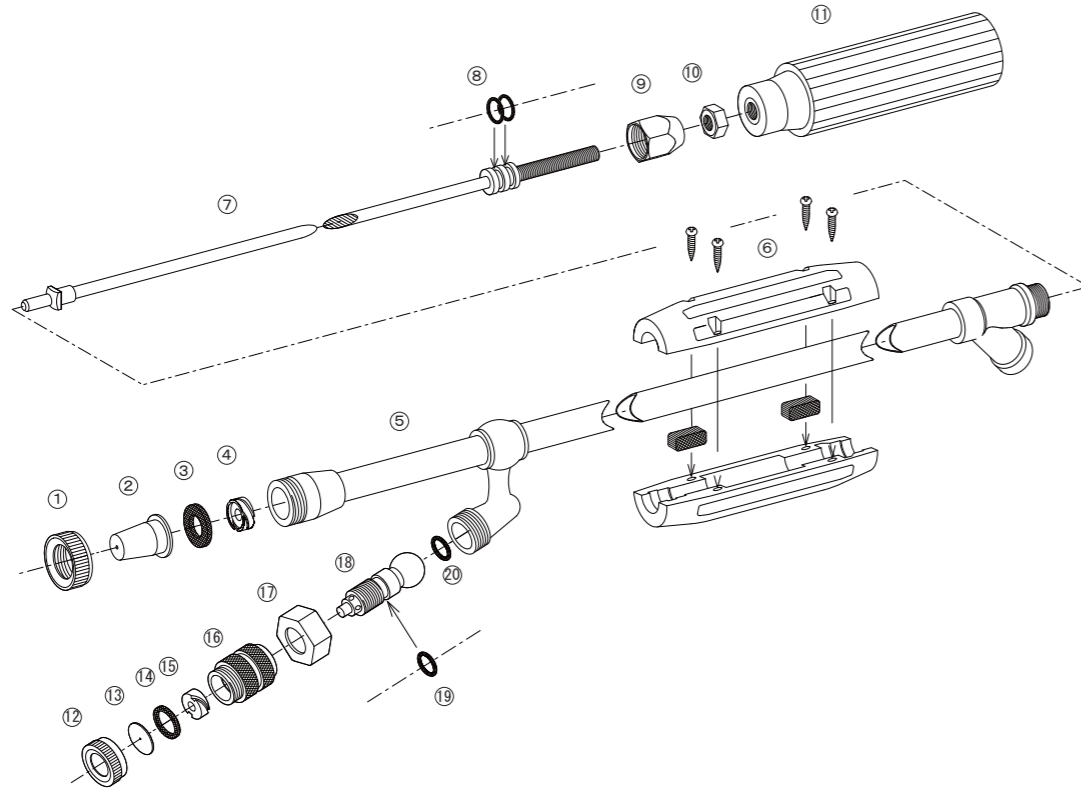


Wミニ鉄砲ノズルW-1

パーツリスト



No.	コード番号	部品名称	個数	備考
1	1101204	キャップ	1	
2	1102601	噴口	1	孔径…φ1.7
3	1101203	パッキン	1	18.5x10x1.5
4	1101205	中子	1	
5	1101213	本体パイプ	1	
6	1100809	握り	1	(1/2赤)ゴム板、ビス付
7-8	1126402	中芯(完)	1	Oリング付
8	3100400	Oリング	2	P-8
9	1100907	グラウンド	1	
10	1114910	M8ナット	1	
11	1101005	手元握り	1	(M8赤)
12	1101908	副ノズル用キャップ	1	
13	1128302	副ノズル用噴板	1	孔径…φ1.2
14	1101906	副ノズル用噴板パッキン	1	14x10.2x1.5
15	1128305	副ノズル用中子	1	φ1.2用
16	1128307	副ノズル用胴	1	
17	1128501	副ノズル用自在ナット	1	
18-19	1128407	自在軸(穴なし)(完)	1	Oリング付
19	3100400	Oリング	1	P-8
20	1128408	シートパッキン	1	13x7x3
12~16	1102602	副ノズル(完)	1	φ1.2

弊社ホームページでも検索できます。

スプレーノズルのパイオニア永田製作所 で検索し **パーツリスト** をご覧ください。

11285-001



⚠ ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

Wミニ鉄砲ノズルW-1

最高使用圧力3.0MPa

⚠ 安全に防除作業をしていただくために

この度はWミニ鉄砲ノズルW-1をお買い上げいただき誠に有難うございます。安全で快適な防除作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。この取扱説明書では安全な作業をするため、守っていただきたいポイントに⚠のマークを表示し説明しておりますのでよくご理解いただき、事故のない安全な防除作業をしてください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

機 構

- (1) この取扱説明書の畦畔ノズルを、ご使用いただく場合は必ずコックを取り付けてください。
- (2) 各々の噴口は、自在にパターンを替えることができ長帯域均等に散布できます。
- (3) 複数の噴口から噴霧されるため、反動が大きいので中間握りはしっかり握り作業してください。



スプレーノズルのパイオニア

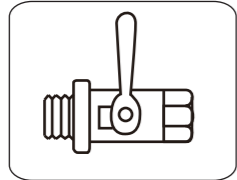
株式会社永田製作所

<http://www.nagataseisakusyo.co.jp>

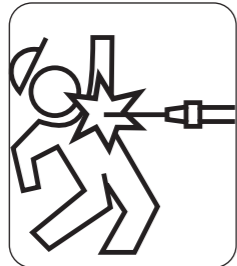
注意



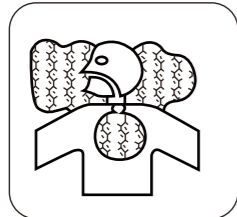
- ▲ (1) 毎回作業前にはホース取付部及びノズル各部ねじのゆるみまたは、損傷異常箇所がないか点検のこと。
安全を期すためホース接続部の取付けねじ及びノズル本体各部ねじの締め付けに異常がないか工具で点検し、ゆるんでいる場合は完全に締め付けてからご使用ください。
あせて各部に損傷がないか、操作機能に異常がないか確認し、もしも異常があった場合は、お求めの販売店で完全に修理してください。不完全な状態のままご使用になりますと、事故の原因になりますので十分注意してください。



- ▲ (2) ノズルのコックが完全に閉まっていることを確認のこと。
ポンプを運転する前には、コックが完全に閉まっている状態が必ず確認してください。コックが開いた状態のままポンプを作動しますと、ノズルがついたままホースごと振り回され大変危険です。

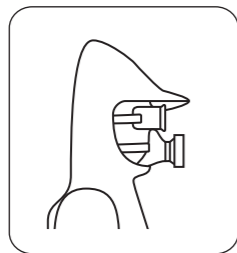


- ▲ (3) ノズルの先端はいかなる時でも絶対に人や動物及び危険物には向けないこと。
ポンプの作動時はノズル先端をしっかりと持ち、バルブが閉まっているか確認し付近に人（特に子供）や動物がいないか、飛びだしの危険、又は危険物がないか、確認してください。



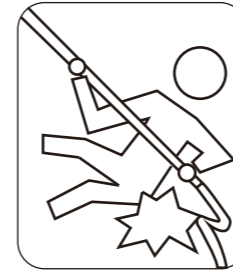
- ▲ (4) 農薬の均一散布、飛散防止、被爆防止のため、無風時間帯に作業をしてください。
特に農薬の説明書を良く読み圃場の近隣には十分注意し飛散による農薬汚染のないように作業してください。

警告

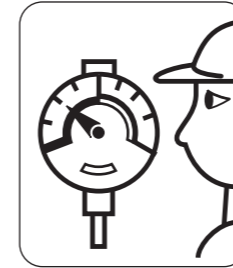


- ▲ (1) 作業時は防除服・保護用具を必ず着用のこと。
防除作業時は薬害防止のため、身体に密着した防除服、防毒マスク、顔面保護ゴーグル、手袋、安全靴（又はゴム長靴）などを必ず着用してください。防除作業中は噴霧された薬液により危険な環境となりますので付近に人が（特に子供）立ち入らないようにしてから作業してください。

作業前点検準備

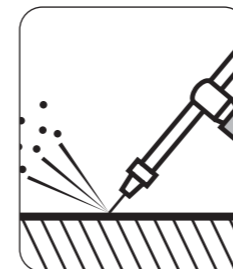


- ▲ (2) 指定圧力以上での使用は絶対しないこと。
ノズルの最高使用圧力以上で使用されますとシール部材が損傷又は破損し事故の原因となる恐れがあり大変危険です。もしも、ご不明な点が、ありましたら販売店までお問い合わせください。



- ▲ (3) ポンプの作動中はノズルの補修、放置をしないこと。
チップの目づまり、交換、接続の異常その他の補修は、必ずポンプを停止させたのちノズル本体のバルブを開き残圧を抜いて、ホースから外してから行ってください。なお、ポンプ作動中はノズルを放置しますと作業員以外の人に触ったり、又は機物等の接触によりバルブが開き薬液が噴霧する恐れがあり大変危険です。

注意



- ▲ (1) 作業後はノズルの残圧処理を行うこと。
防除作業終了後はポンプを停止しても、ノズル本体及びホース内には使用中の薬液が残っています。必ずノズルの先端を前方下に向け、人や危険物がないか確認した後にバルブを開いて圧力を抜いてください。



- ▲ (2) 作業後は速やかにノズル本体の洗浄を行うこと。
防除作業終了後ノズル本体を洗浄せずに長時間放置しておきますと薬剤が固着して、チップの目づまり及び他の箇所の故障の原因になりますので十分注意してください。

- ▲ (3) 運搬、保管、取扱上の注意をすること。
使用後はノズル本体内の薬液を抜くためホースから外してください。運搬保管に際しては下積にしたり、投げたり引きずったり他の目的には使用しないでください。寒冷地・冬季等では残水のまま放置しますと凍結破損をおこす恐れがありますので十分注意してください。なお、ノズルは子供の手の届かない屋内にて保管してください。

作業開始及び使用中の厳守事項